

耳鼻咽喉科で治療を受けた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 深頸部膿瘍における嫌気性菌感染と在院期間延長の関連性の検討

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院・耳鼻咽喉科頭頸部外科 助教 氏名 阪上 智史

《研究の目的》 深頸部膿瘍は適切な処置が遅れると致死的な状況に陥る可能性がある疾患であり、重症化の指標を理解することが重要である。当院において経験した深頸部膿瘍 60 症例を後ろ向きに検討する。重症化の指標として在院期間を使用し、在院期間を長期化させた因子を検討する。さらに、その因子の中で嫌気性菌の存在に注目し、嫌気性菌の存在が重症化因子として挙げられるかどうかを検討する。

《研究期間》 研究許可日～2025年4月末日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

深頸部膿瘍の患者さんで、2006年4月1日から2019年4月30日の間に治療を受けた方

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、菌培養）、入院期間  
実施された手術およびその方法（術式）や手術回数、治療に関連して投与された薬、  
実際の治療効果、を用いて検討いたします。

試料： 今回の研究で用いることはありません。

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

\*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院 耳鼻咽喉科頭頸部外科 担当医師 （職名）助教（氏名）阪上智史  
大阪府枚方市新町 2-3-1

電話 072-804-0101 (代表) FAX 072-804-0131